



# 高校生チャリティ×起業体験プログラム まじプロ 2015 活動報告書

 Curiosity  
キュリオシティ  
NPO 法人Curiosity

協賛：株式会社教育ネット 東京本郷ロータリークラブ 文化シャッター株式会社 後援：文京区





文化シャッター

# Life in Lifelong Partnership

お客様に安心・安全を提供する  
『快適環境のソリューショングループ』  
を目指します。



東京・海防公園地区有明駅  
（海防シャッタービル）



都立大・有明駅として駅舎の  
（ポルティエ）



ビル敷地には200坪以上の有明駅ビル  
（有明シャッタービル）



リノベイトされた有明駅ビル  
（リノベイト）



1100坪以上の有明駅ビル敷地  
（エア・キーパー大築造）



有明駅敷地内にビルを建設  
（ファミリーフェイス）

文化シャッター株式会社

〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 TEL.03(5844)7111 ホームページ <http://www.bunka-s.co.jp/>

## はじめに

この活動を始めたきっかけの一つとして、私自身が高校・大学・社会人と歩んできた実際の経験にあります。進学・就職の岐路にさしかかった当時はそれなりに考えて進路を選択していたつもりだったのですが、心のどこかで「とりあえず」「なんとなく」という気持ちが少なからず働いていたのだと思います。それぞれの岐路の重要性に気づいたのは社会人になってからずいぶん時間が経ってからのことでした。その後悔と「自分と同じ思いをして欲しくない」「学生の時にあったら良かったな」と思った経験は、この活動を始める決意とその後の原動力になっています。

そんな想いがきっかけで2014年からスタートした高校生向けのチャリティ×起業体験プログラムもおかげさまで2年目の活動を終了することができました。2回目となった2015年度から名称を「まじプロ」と改め、高校生を支える役割として新たに大学生がスタッフとして活動に加わり、新体制で望んだ1年でした。どうすればより高校生にとって将来に活かせる経験・活動とできるのか、世代的にも高校生に近い立場の大学生の力を借りて、共に試行錯誤を続けてきました。プログラム、運営体制など基本形が確立するまではもう少し試行の回数が必要ですが、一時的な活動に終わることの無いよう、地道に活動に取り組んでいきたいと考えています。

今回の活動を支えてくださった多くの皆様のご協力、ご尽力に深く感謝するとともに、引き続きのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

2016年3月  
NPO 法人 Curiosity  
代表 小川 智康

## 目次

|               |    |
|---------------|----|
| はじめに          | 1  |
| まじプロについて      | 2  |
| まじプロ2015開催概要  | 3  |
| 実施プログラム       | 4  |
| 高校生グループ活動レポート | 6  |
| 閉講後アンケート      | 10 |

## まじプロについて

まじプロは『リアルな起業体験×リアルな社会貢献』をテーマに、2014年より実施している高校生向けのチャリティ起業体験プログラムです。高校生が支援する社会問題を選び、チャリティ資金の獲得に向けたイベントや物販などの企画を全て自分たちのグループで行います。この活動で得た収益は自ら希望したNPO等へ寄付します。

### ●問題意識・大切にしていること

- やって見なくちゃ、わからない … 実際の社会の中で、とにかくまず1度やってみる。百聞百見は一験にしかず。
- キャリアは教室で学べない … 学校の外に出て、いろいろな人と会い、行動・チャレンジする。
- 岐路に至るまでに視野を広げる … 進路選択までに視野を広げる。「なんとなく」「とりあえず」の選択をしない。

### ●コンセプト・特徴

#### 「実行」するプログラム

まじプロでは、プランの立案だけに留まらず、起業プランの企画から実行まで一連の流れの高校生たち自身で担います。難しいのは、アイデアを具体化し、実行することです。ゼロから企画し、実際に物やサービスを提供し、対価を得るという一連の流れを短期間に全て自分たちで実行することは時に失敗を伴うこともありますが、この過程こそ本物の経験となるはずです。自らがチャレンジしたからこそ得られる唯一無二の経験です。



#### 多様な人の関わり

世代も属性も全く違う仲間と共に活動することがまじプロの大きな特徴の一つです。プログラムの主役は高校生ですが、高校生を支えるボランティアの大学生や社会人も大きな役割を果たしています。大学生から60代まで幅広い世代がインターンやボランティアとして活動に携わり、運営をサポートするだけでなく、世代や立場を超えて共に考えて課題に取り組んでいます。一方向のボランティアではなく、それぞれの立場・世代にとって学び、気づきの場となっています。



#### 起業体験の収益をチャリティに

まじプロはお金儲け“だけ”を目的としていません。起業体験で得た収益はチャリティとして寄付を行います。また、寄付先団体の担当者を招いた寄付先セッションや寄付先団体で短期間のボランティア活動を通じて、社会で起きている問題や課題に対する理解を深めます。



### ●これまでの経緯

|                  |                                |
|------------------|--------------------------------|
| 2013年 9月         | NPO 法人 Curiosity 設立            |
| 2014年 3月         | 高校生チャリティ起業体験プログラム 準備会議スタート     |
| 2014年 7月～2015年1月 | 文京社会 <sup>ほんがく</sup> 学コンテスト 開講 |
| 2015年 4月         | まじプロ2015 準備会議スタート              |
| 6月～7月            | 大学生インターン・ボランティア募集              |
| 8月               | 大学生インターン・ボランティア研修              |
| 9月               | 参加高校生の募集                       |
| 2015年10月～2016年2月 | まじプロ2015 開講                    |

## まじプロ2015開催概要

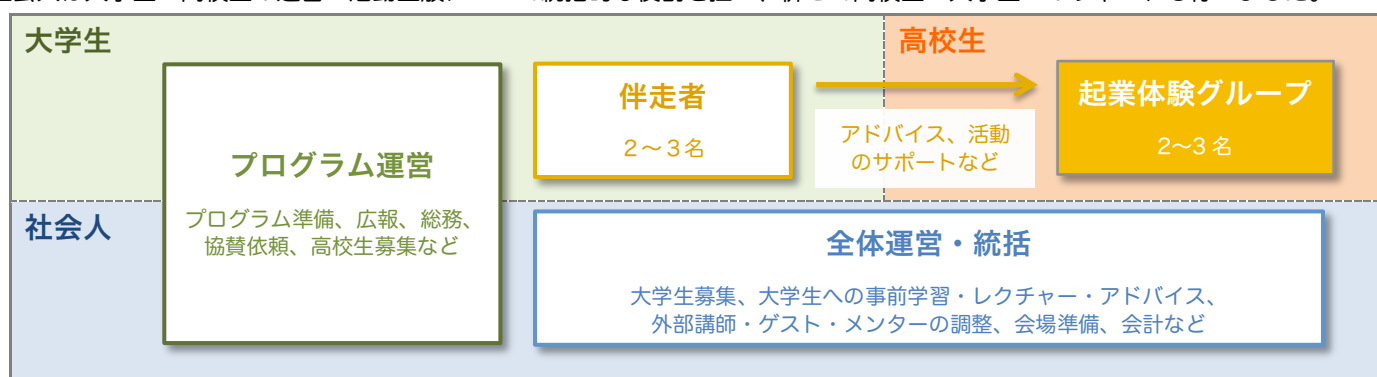
2回目の開催となった今回は2015年10月からスタートし、13名の高校生が参加しました。学校生活では経験できない起業体験という機会を通して、仕事や働くこと、社会課題の理解など、世の中やお金に対する価値観を養います。また、チームワークの大切さやコミュニケーションの難しさなど、実際に行動する中での経験や気づきを重視した実践型のプログラムです。

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 名 称     | まじプロ2015～高校生チャリティ×起業体験プログラム～         |
| 主 催     | NPO法人Curiosity                       |
| 協 賛     | 株式会社教育ネット、東京本郷ロータリークラブ、文化シャッター株式会社   |
| 後 援     | 文京区                                  |
| 協 力     | 特定非営利活動法人全国学生保障援助会                   |
| 助 成 金   | 文京区青年育成事業補助金                         |
| 開 講 期 間 | 2015年10月5日～2016年2月7日                 |
| 参 加 者 数 | 高校生：13名                              |
| 運営スタッフ  | 大学生インターン：12名 大学生ボランティア：5名 社会人スタッフ：5名 |

### ●大学生・社会人の役割

大学生は高校生のサポート役となる「伴走者」として担当するグループの活動を継続的にサポートし、個別に相談やアドバイスを行うと共に、プログラムの準備や広報、総務など、運営についても中心的な役割を担いました。

社会人は大学生・高校生の運営・活動全般について統括的な役割を担い、併せて高校生・大学生へのサポートも行いました。



### ●グループへの課題

- ・ 起業プランの実行に向け、企画立案・集客・イベント開催、物品販売など一連の役割を自ら行うこと
- ・ 各グループ5万円を元手（貸付金）に対して、15万円以上の収入を得ること
- ・ 得た収益は、自ら希望するNPO等の非営利団体へチャリティとして寄付をすること

### ●高校生グループの取り組み

|   | グループ名                     | 企画概要                       | グループ人数 | 収益・寄付金額 |
|---|---------------------------|----------------------------|--------|---------|
| 1 | ソントゥー SON-2               | 国際交流イベントの実施・グッズ販売          | 3名     | ¥15,910 |
| 2 | スペシャルメロディー Special Melody | 藍染め体験・あめ細工づくり体験イベントの実施     | 2名     | ¥51,258 |
| 3 | ラボラトリー 駒込Laboratory       | 謎解きゲームイベントの実施              | 3名     | ¥15,704 |
| 4 | スタボ                       | キッズアートグッズの販売・展示・ワークショップの実施 | 3名     | ¥4,146  |



# 実施プログラム

## ①オリエンテーション・寄付先セッション

2015年10月4日・11日 湯島地域活動センター

初回の活動となったオリエンテーションでは、プログラムの概要説明に加え、参加した高校生・大学生がそれぞれ自己紹介・他己紹介を行いました。

寄付先セッションでは、寄付先となるNPO等の非営利団体の担当者を招き、各団体の問題意識や取り組む社会課題、活動内容について説明を受けました。

また、今回のまじプロにご協賛いただいた株式会社教育ネット様ご協力のもと「ネットあるあるワークショップ」を開催し、高校生・大学生が情報モラルに関する問題点や実際に経験した出来事などについて意見を交わし、グループで出された意見を全体で共有しました。

### ○寄付先セッション・短期ボランティア活動実施団体

- ・あしなが育英会
- ・NPO 法人キッズアートプロジェクト ※
- ・認定NPO 法人多文化共生センター東京 ※
- ・認定NPO 法人カタリバ ※
- ・NPO 法人YouthCreate ※
- ・NPO 法人街ing 本郷 ※
- ・NPO 法人いきいきフォーラム草の根支援
- ・認定NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク

※… 寄付先セッション参加団体のうち、下記のボランティア活動を行った団体



## ②寄付先でのボランティア

10月17日～31日 各団体活動場所

寄付先セッションに参加した団体から、高校生が興味関心のある団体を選び、短期間のボランティア活動に参加しました。

実際にボランティアを経験することで、団体が取り組む課題や活動内容、そこで活動する人に対する理解を深めるとともに、自らの寄付先をより身近に感じる機会となりました。



## ③起業プランの企画立案・グループの編成

11月1日・8日 湯島地域活動センター

アイデアの出し方、企画の立て方についてのワークショップを実施しました。

個人単位で「誰に・何を・どのように」のアイデアを検討し、全体への共有を経て、思いやアイデアの方向性の近い仲間を中心に、実際に起業プランを実行する4グループを編成しました。



## ④起業プランの具体化・メンターミーティング

11月15日～22日 湯島地域活動センターほか

起業プランをより具体的なものとするため、予算計画やスケジュール、準備項目などをまとめた事業計画書を作成しました。

事業計画書の作成後に行ったメンターミーティングでは、各方面で活躍する社会人を外部から招き、第三者の視点からプランに対するアドバイスや点検を行い、プランの実現可能性を高めました。



## ○参加メンター

- ・鈴木 啓太 株式会社サイバーエージェント（ハシゴ）・新規事業企画室長
- ・清水 文也 QualityTime Consulting 株式会社 代表取締役
- ・大塚 哲哉 建設機械メーカー勤務
- ・渡辺 翔太 野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部コンサルタント
- ・岸田 英 エスカルチャー株式会社 代表取締役
- ・在原 遼 東京大学経済学部経済学科4年



## ⑤起業プランの準備

11月29日～1月9日 湯島地域活動センターほか

起業プランの実行に必要な物品の購入や配布物の作成などを行いました。

来場者の集客にあっては、チラシの作成・配布やウェブサイト・Twitterでの情報発信などを行いました。



## ⑥起業プランの実行

2016年1月10日・11日 文京区立誠之小学校

キッズアートグッズの物販、小学校の校舎を活用したリアル謎解きゲーム、国際交流イベント、和文化体験イベントなどの起業プランを各グループが実施しました。

4グループ合同の会場となった文京区立誠之小学校には、文京区内の小学生とその保護者を中心に、2日間でのべ341名が来場しました。

(各グループの活動の詳細は6～9ページをご覧ください。)



## ⑦活動レポート作成・発表準備

1月16日～1月30日 向丘地域活動センターほか

起業プランの実施内容や収支報告、感想などをまとめた活動レポートを作成するとともに、活動報告会での発表に向けたスライドの作成、発表のリハーサルを行いました。



## ⑧活動報告会

2月6日 文化シャッターBXホール

各グループのこれまでの活動をプレゼン形式で発表しました。発表後は来場者から質疑応答を行い、ゲストからは講評をいただきました。

全グループの発表終了後には、高校生と一緒に活動を行った伴走者の大学生、社会人が各グループの特色や優れていた点を評価し、表彰しました。

### ○ゲスト

- ・河合 洋 東京本郷ロータリークラブ会長
- ・西川 彰雄 文化シャッター株式会社 経営企画部主任
- ・今村 亮 認定NPO法人カタリバ・文京区青少年プラザ b-lab 館長
- ・矢島 孝幸 文京区男女協働子育て支援部児童青少年課長

### ○来賓

- ・成澤 廣修 文京区長
- ・辻 清人 衆議院議員
- ・白石 英行 文京区議会議員



## ⑨振り返り

2月7日 礪川地域活動センター

高校生、大学生、社会人が共に4ヶ月間の活動を振り返るワークショップを実施しました。起業体験、報告会でのプレゼンなど、各自の感想や気づきをグループごとに共有した後、今回の経験を今後どのように活かしていくかを全員で共有しました。





## SON-2 … 異文化体験教室

### ●活動概要

|         |   |         |           |
|---------|---|---------|-----------|
| 企画名     | 異文化体験教室   |         |           |
| グループ名   | SON-2   | メンバー数   | 3名        |
| メンバー氏名  | ソ・ジョンユン、二階堂 倫子、大笹 はるか   |         |           |
| 寄付先団体   | 認定NPO 法人多文化共生センター東京   | 収支・寄付金額 | 15,910円   |
| 目的      | 多文化共生センター東京へのボランティア活動を通じて、同世代の子どもたちが、私達と同じ環境で教育を受けることができない現状を知り、もっと多くの子供達が、充実した教育を受けられるようにするため、チャリティ活動を行いたいと思った。日本の子どもたちにも、異文化を体験してもらいたい、この現状を知ってほしいと思った。   |         |           |
| 対象者・人数等 | 小学生   |         |           |
| イベント日時  | 2016年1月10日(日)・11日(月・祝)  | 会場      | 文京区立誠之小学校 |
| 設定価格    | 【物販】タオル：500円、キャンドル：350円<br>【イベント参加費】キャンドルづくり体験：1,000円、ポストカードづくり体験：800円  |         |           |
| 活動概要    | 寄付先セッションで、多文化共生センター東京に興味をもち、実際にボランティアに参加することで、在日している子どもたちの教育環境が充分でないことを実感。<br>しかし、企画が具体化する前に商品の発注をしまい、損失を抱えながら企画の変更を試みた。子どもたちに異文化を学ぶことの楽しさを感じてもらい、少しでも興味を持ってもらえるようなイベントを企画しようと思案。購入した猿タオルを売るだけでなく、多文化共生センター東京の子どもたちと一緒にキャンドルを作り、それを販売。<br>また、グッズの販売だけでなく、異文化を楽しく体験してもらうことを目的に、異文化体験教室を企画。多文化共生センター東京で作ったものと同じキャンドル作りや、ポストカードを作成して在日の子どもたちと交流する体験に加え、英語の歌やダンス、ゲームを行った。実施日には、子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができ、定員割れはしたものの、無事に利益をあげることが成功。 |         |           |

### ●高校生感想

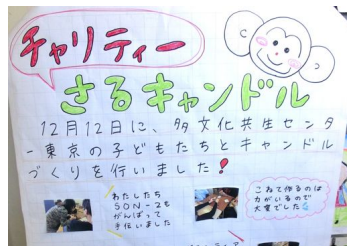
- まじプロに参加して、起業することの大変さを知りました。NPO団体に電話をかけてお願いをしたり、足を運んで自分たちの企画を説明したりすることは今までなかったからです。訪問の際は資料を用意したりなど、工夫をすることの大切さを学びました。会って間もない人たちと一緒に起業をするのは、役割分担や日程調整など、うまくいかないことも多かったです。大学生や社会人スタッフ、みなさんのサポートのおかげで何とか自分たちのアイデアを実施に繋げることができました。(大笹 はるか)
- 色々なNPO団体の講演を聞いたり、実際に働いている社会人の話を聞いたり、自分がやりたい起業についてアドバイスをもらったりと勉強会のような感じで、とても楽しかったです。そのあと、チームを分けて本格的な活動を始めて、真剣に起業について考えたり、メンバーでご飯食べに行ったりして楽しかったです。途中、同じチームの人がやめたり、僕が1ヶ月韓国へ帰ったりと厳しい状況がありましたが、結局本番も無事に終わって良かったと思います。忘れられない5ヶ月でした。(ソ・ジョンユン)
- まじプロに参加したことはとても良い経験になった。多くのことを学べたからだ。一つは企画し実行することの大変さ、もう一つは変化に柔軟に対応することの大切さだ。反省点は、物品と場所についてだ。物品についてはチャリティーグッズを販売したが、それは企業のを転売しただけのものだ。場所については誠之小学校で行ったが、もっと多くの人に参加できる場所で行うべきだった。反省もあったが、チャリティ活動を無事に行うことができ本当に良かった。この経験を次に生かしたい。(二階堂 倫子)

### ●伴走者コメント

- イベント当日は自分自身も一緒になって楽しくやれましたが、当初は高校生がとても強い個性と過剰ともいえる自信を持っており、周りが見えない様子だったので、まとまりがないチームだなと思いました。しかし、活動を重ねるごとに、起業というテーマに向かって一致団結して、イベントを成功させて、収益も上げられたので結果的には良かったなと思いました。本当に高校生の成長を感じられる4か月間で、自分自身も有意義な時間を過ごせました。(SON-2 伴走者・小川 純平)

### ●イベント来場者感想

- この辺りは特に外国から来た子供も多くいるので、このようなボランティア団体の存在はとても助けになると思います。イベントに参加するだけでなく、チャリティそのものを理解できるように子供にも教える良い機会になりました。(小1・保護者)
- ボランティアの高校生、大学生のお兄さんお姉さんがやさしくて良かった。年上のお姉さんにあこがれている小2の娘はふれあえて、いろいろお話ができてうれしそうでした。(小2・保護者)
- えいごが学べたのしかった。(小2)



(※上記は各グループより提出された活動報告の一部を抜粋し、記載内容・文字等は提出原稿のままとしています。)



## ●活動概要

|         |   |         |                  |
|---------|---|---------|------------------|
| 企画名     | 藍染めとあめ細工体験教室  |         |                  |
| グループ名   | スペシャルメロディー<br>Special melody  | メンバー数   | 2名               |
| メンバー氏名  | 三宅 大樹、近藤 あやの  |         |                  |
| 寄付先団体   | あしなが育英会<br>NPO 法人キッズアートプロジェクト   | 収支・寄付金額 | 75,929 円 (2団体合計) |
| 目的      | 「知っている」というだけでなく、自分自身の身体で体験し考えることを通して、更に日本の文化について理解を深めてもらい、興味を持って貰う。   |         |                  |
| 対象者・人数等 | 小学生 飴細工…30 人×2 日<br>藍染…24 人×2 日   |         |                  |
| イベント日時  | 2016 年 1 月 10 日(日)・11 日(月・祝)  | 会場      | 文京区立誠之小学校        |
| 設定価格    | 藍染め体験：1,500 円、飴細工づくり体験：800 円  |         |                  |
| 活動概要    | ◎藍染め体験(13:00～15:00) ￥1,500<br>藍液でハンカチを染める(一人2枚)<br>クイズ形式(どのように絞ったらこんな模様ができるのか)<br>◎飴細工づくり体験(15:30～17:00) ￥800<br>一日目 自分たちで飴を溶かし、参加者に絵を描いてもらう。しかし、なかなか見切れずご迷惑いたしました。<br>二日目 事前に砂糖を小分けにして、保護者に飴を溶かしてもらった。 |         |                  |

## ●高校生感想

- 僕ははじめこの活動に参加することにあまり乗り気ではありませんでした。学校でも部活に参加せず、怠惰な日々を過ごしていましたが、今回この活動の参加をきっかけに少しですが、変わることができました。活動では、実際にやってみてしかわからないこと、例えば、お客さんに喜んでもらえるイベントを立案することや、その準備の大変さを学ぶことができました。協力してくださった全ての人に、感謝します。(三宅 大樹)
- 私は今回まじプロに参加して、実際に自分でイベントを企画することの大変さやおもしろさを体験しました。私は「企画する」ということをなめていました。構想段階では、やりたいことがたくさんありました。しかし、実際に始めてみると、思った通りにいかないことが多くあり、難しさを実感しました。けれども、メンバーで協力して実行可能なイベントをつくり上げることなど楽しいこともたくさんありました。参加者が満足してくれたようで良かったです。(近藤 あやの)

## ●伴走者コメント

- 二人を見ていて印象的だったのは、私より上の世代、または同じ世代の人と比較して社会貢献やボランティア活動に対して、積極的であったことです。これは、このチームの二人だけでなく、今回参加した高校生全般に言えることであると思うのですが、私の世代が高校生であった時には、ボランティアや社会貢献活動に対して、気恥ずかしさがあったように思えます。つまり、それらの活動が切実に求められていることが実感できなかったのだと思います。一方現在の高校生は、小さいころに震災を経験し、社会という言葉を概念ではなく、その体験から身近なものに感じられたのだと思います。そのような意識をもって、実際に今回のプログラムなどで行動を起こしていることは素晴らしいことだと感じました。  
(Special Melody 伴走者・岩井 昇華)

## ●イベント来場者感想

- 自分たちも楽しめて、良い経験が出来た上、人のためにもなるというのは、素晴らしいと思います。若い子が、ボランティア等に参加しているのを見て、私も、子供も、そういう気持ちを持つことの大切さを考えました。(小1・保護者)
- たのしかったし、はじめてでおもしろかったです。(小1)
- わごむをつけたり、あいぞめのえきをつけたらすごいすてきになので楽しかったです。(小2)



(※上記は各グループより提出された活動報告の一部を抜粋し、記載内容・文字等は提出原稿のままとしています。)

## ●活動概要

|         |  |       |           |
|---------|--|-------|-----------|
| 企画名     | 歩いて探すリアル謎解きゲーム ～隠されたおせちレシピを取り戻せ！～  |       |           |
| グループ名   | 駒込Laboratory   | メンバー数 | 3名        |
| メンバー氏名  | 小川 真央、豊島 葵、佐藤 有希子  |       |           |
| 寄付先団体   | NPO 法人キッズアートプロジェクト   | 寄付金額  | 15,204円   |
| 目的      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の活性化</li> <li>・文京区内でも、なかなか会うことのない人たちに交流する場をつくる。</li> </ul>   |       |           |
| 対象者・人数等 | 文京区の小学生とご家族  |       |           |
| イベント日時  | 2016年1月10日(日)・11日(月・祝)   | 会場    | 文京区立誠之小学校 |
| 費用単価    | 小学生500円、大人100円   |       |           |
| 活動概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誠之小学校の校舎内で、クイズカードを片手に謎のカードが隠されている場所に行く。</li> <li>・見つけた謎解きカードを近くにあるヒントを手がかり解き、謎の文字を見つけて解答用紙を埋めていく。</li> <li>・ゴールしたら賞状を受け取り、お菓子のつかみ取りをする。</li> </ul> |       |           |

## ●高校生感想

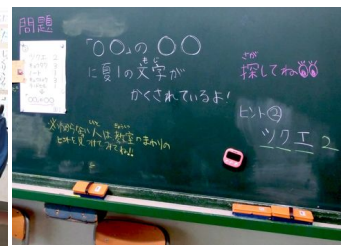
- 私はこのボランティア活動を通して起業の大変さを改めて実感しました。最初に自分たちで計画を立て進めていきましたが、なかなか計画通りに作業できずイベントをずらすことになってしまいました。私は自分たちの役割をきちんと分担できず人任せにしてしまったこととみんなで情報を共有できなかったこと、計画を細かく立てなかったことが原因だと思います。私はこの経験を活かして今後に役立てることができたらいいなと思いました。(小川 真央)
- まじプロを通して、今までに経験した事無い事が出来て良かったと思います。協賛先を回ったりチラシを作ったり社会人の方に見てもらったり、とてもいい経験でした。最初から自分達で考える事は難しいのと同時にとてもやりがいのある事だと実感しました。イベントに来てもらう人の気持ちを考えて作る事と締切を見通して考える事は難しかったです。しかし、いい案が出たり、やり遂げることが出来たりした時は嬉しかったです！多くの人が笑顔になってくれるような事をこれからもしていきたいと思います！(佐藤 有希子)
- 私は今回の体験を通じて人を動かす事の責任や大変さを身にしみて感じました。このイベントに参加してから、沢山の発見がありました。自分の考えをアピールする力、取引先との交渉の際のマナー、常識、などです。お客様が「また来年もやってほしい！」と言って下さった時、協賛先と取り引きが完了して協賛金を頂いた時、自分たちも通用したんだ！ということが嬉しくて、それが大きな発見でした。この体験は、授業の発表会、受験の面接、将来自分が社会人になった時に生かしたいです。(豊島 葵)

## ●伴走者コメント

- お金を払って頂けるほどの価値のあるイベントを作るというのは、とても大変で責任のある行為だったと思います。イベントを企画し、一から作り上げ実行したことは素晴らしいと思います。一緒に活動していて、クイズの難易度など自分本位ではなくお客様視点で考えられるのもよかったと思います。イベントでは謎解きゲームに参加した親子がコミュニケーションをとりつつ、楽しんでいる様子が見られ、これまで頑張って準備してきた分本当によかったなと思いました。(駒込 laboratory 伴走者・二重作 有希)

## ●イベント来場者感想

- 謎解きゲームで参加者が困っていないか(スタッフが)気を遣っていた。(小2・保護者)
- 他の人と会話しながら協力してゲームをクリアできたから、楽しかった。(小4)
- ぼうけんをしているようなかんじでたのしくできた。(小1)



(※上記は各グループより提出された活動報告の一部を抜粋し、記載内容・文字等は提出原稿のままとしています。)



## ●活動概要

|         |   |       |           |
|---------|---|-------|-----------|
| 企画名     | キッズアート展   |       |           |
| グループ名   | スタボ   | メンバー数 | 3名        |
| メンバー氏名  | 平岡新菜、廣木美月、力石光彩  |       |           |
| 寄付先団体   | キッズアートプロジェクト  | 寄付金額  | 4,146円    |
| 目的      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアをしたかったから</li> <li>・キッズアートプロジェクトに寄付したかったから</li> <li>・キッズアートプロジェクトに貢献したかったから</li> <li>・ボランティアを身近に感じて欲しかったから</li> </ul>              |       |           |
| 対象者・人数等 | ・小学生とその保護者(30名)   |       |           |
| イベント日時  | 2016年1月10日(日)・11日(月・祝)  | 会場    | 文京区立誠之小学校 |
| 費用単価    | 【グッズ販売】カレンダー：800円、iPhone ケース：2,500円、ポストカード：100円<br>【ワークショップ参加費】500円   |       |           |
| 活動概要    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院している子供たちが書いた絵を展示</li> <li>・キッズアートプロジェクトで使っている粘土を使ったワークショップの実現</li> <li>・実際に子供たちが書いた絵をグッズにして、販売する(ポストカード、カレンダー、iPhone6 ケース)</li> </ul> |       |           |

## ●高校生感想

- 私自身が入院した経験があり、病気で苦しんでいる子どもたちに何かをしたいという思いからまじプロに参加しました。デザインや値段はどうするのか、どうしたら人が集まるのかなどをたくさん考えました。グッズが出来た瞬間や売れた瞬間はとても嬉しく達成感がありました。わずかですが寄付することができました。しかし、微力でも何か行動を起こせたことに意義を感じました。まじプロは私の遠い将来の目標の良い通過点になりました。(平岡 新菜)
- 自分が企画したものを実現化し、その利益を寄付できることに興味をひかれて参加しました。どんなグッズをつくるかということや販売する場所をどこにするかということを考えるのは大変でした。イベントを通じて子どもたちとふれあうことができ楽しかったです。保護者の方からもほめられたのもうれしかったです。主催者側になることで、すごく考えてイベントを企画していることがわかり、いい経験になりました。この経験が将来役に立ってくれると嬉しいです。(廣木 美月)
- まじプロで起業体験をして大きく2つのことを学ぶことができました。1つはコミュニケーションです。だんだんと情報共有する回数が減っていき、メンバー内で情報の差が出てしまい、自分やチームが何をすべきなのか分からなくなってしまったからです。2つ目は日程計画です。グッズの発注や会場決定、企画書作成に時間がかかり、キッズアート展は1回のみ開催となってしまいました。今回のプログラムに参加し、多くのことを学べる機会となりよかったです!! (力石 光彩)

## ●伴走者コメント

- 最初の起業コンセプトが、自分がボランティアをするだけでなく、他の人にボランティアを広めたい、ボランティアを始めるきっかけを作りたいというもので、そのような発想ができることに大変感心しました。スタボのイベントは、キッズアートプロジェクトを広めることはもちろん、参加者にとってはイベントに参加すること自体がボランティアにもなっており、最初の「ボランティアを広めたい」という動機と、キッズアートプロジェクトを広める活動をうまくつなげることができた企画だったと思います。最初から最後まで動機がしっかりしていたからこそ、絵の展覧、グッズ制作、ワークショップという盛りだくさんの企画を成し遂げられたのだと思います。高校生のアイデアや行動力にはいつも助けられ、私たち大学生も学ぶことが多かったです。お疲れ様でした。(スタボ伴走者・武居 真穂)

## ●イベント来場者感想

- 子供達への対応もていねいで好印象でした。キフをする先の方々も幸せな気持ちになるといいですね。またやってくださいね。(小3・保護者)
- みなさん、子供の目と同じ高さで、話をしたり、聞いたりして下さって、ありがとうございました。(小学生保護者)



(※上記は各グループより提出された活動報告の一部を抜粋し、記載内容・文字等は提出原稿のままとしています。)

## 閉講後アンケート

今回のまじプロに参加した高校生とその保護者、大学生スタッフに対して、閉講後にアンケートを行いました。アンケートの結果は、今後の運営、プログラム作りに活かしていきます。

### ●高校生

Q. まじプロに参加して良かったと思いますか？

| とても良かった | 良かった | どちらともいえない | 良くなかった | とても良くなかった |
|---------|------|-----------|--------|-----------|
| 4       | 6    | 1         | 0      | 0         |

- 色々な人達との出会いがあって、起業ということについて勉強できたから
- 最終的に楽しかったし、色々と学べるがあったから
- 今までにした事のない経験が出来たから
- 結果、寄付をすることができたから
- 沢山のひとと交流することができて、とても楽しかったから
- 起業することの大変さを身をもって知れたから

Q. まじプロに参加して難しかったと感じたのはどんなことですか？

- 役割分担が偏ってしまったこと
- お金を得ること、さらにそれを利益にすること
- お客さんへの対応
- 企画書作成など、初めてやるのがたくさんあったこと
- 情報共有を怠って、混乱を招いたことがあった
- 先を見通して考えること

Q. まじプロについて、感想や意見、今後参加する人へのアドバイスなど、自由に書いてください。

- 1人では何もできない、周りの人に助けられてきたからこそ、成功したと思っています。当たり前のように手伝ってもらっていましたが、今思うと本当はもっと自分で何とかしようという気持ちを持ってやらなければいけなかったなと思いました。なので、私はこの失敗を2度としないように、これからの学校生活等に活かしていきたいと思います。
- とても満足感を得られて、色々と学べるいい企画だと思います。楽しかったです。
- もっと、自分でやろうという意識を高め、人に頼ってばかりにはならないようにしていきたいと思います。
- 実際に起業を体験できてわかったことが沢山あり、楽しかったです。
- かなりの覚悟と意欲が必要だと思います！でも、とってもやりがいはあるし楽しいので参加する価値はあり！

Q. まじプロを通じて自分の成長を感じることができましたか？

| とても感じた | 少し感じた | どちらともいえない | あまり感じなかった | 感じなかった |
|--------|-------|-----------|-----------|--------|
| 2      | 8     | 0         | 1         | 0      |

- 最初は何が何だかわからないことばかりだったけど、最終的にはたくさんの人にサポートしてもらい、イベントを成功させることができたから。
- ビジネスマナーを知ることができた
- 考え方や性格が変わったから
- 本当にお金を稼ぐことができたから
- 自分の意見を言えるようになったから。
- 今まで、やったことない経験が沢山出来たから。
- 協賛をもらいに行ったり、チラシを作ったり、今までにない経験が出来たから。
- 変化に柔軟に対応することが大切だと身をもって実感したから。

### ●高校生保護者

Q. プログラムへのご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

- 娘が自主的に行動し、たくさんの人々と交流する機会ができたこと。
- 目的、目標がはっきりしていて、それに取り組む姿勢が向上心へとつながり、大変良い経験ができたと思います。ありがとうございました。

Q. 本プログラムに参加する前と後で変わった点やお気づきになりました点があればご記入ください。

- 本人は積極的に関わり行動していたようで完成・達成ができ、自信をより強めたのは良かったと思います。
- 社交性、自主性、協調性が向上し、更に相手（友達、両親、他）と話す時のボキャブラリーが増えたように感じる。

### ●大学生

Q. まじプロインターンまたはボランティアに参加して良かったと思いますか？

| とても良かった | 良かった | どちらともいえない | 良くなかった | とても良くなかった |
|---------|------|-----------|--------|-----------|
| 5       | 7    | 0         | 0      | 0         |

- 自分の課題が見つかった。学校や年齢の違う人達と同じ目標に向かって動いていくことの難しさを知れた。
- まじプロに入らなければ出会えなかった人や団体と関わることができ、良い経験になったから。
- 学校の授業やアルバイト等では学べないこと、できない経験が多かったと思う。

Q. まじプロを通じて自分の成長を感じることができましたか？

| とても感じた | 感じた | どちらともいえない | あまり感じなかった | 感じなかった |
|--------|-----|-----------|-----------|--------|
| 5      | 7   | 0         | 0         | 0      |

- 途中は辛いと思う時もあったが、最後まで続けると達成感もあるし、本当にやって良かったと思えた。途中でリタイヤしていたらこの感情は味わえなかったと思う。
- 主体性を持って取り組めば、いろんなことに挑戦でき、いろんな人と出会い、たくさんのことを学べる場所であり、高校生だけでなく大学生にとっても成長できる機会が多くあると思う。
- 普段の生活では出来ないような経験が出来たので、就活のネタとして使いたいと思っています。
- 上手くいかないことも多く、辛い時もあると思います。途中で投げ出したくなる時もありますが、それ以上にイベントを終えた後の達成感や喜びを感じる事が出来ます。

(※上記はアンケート結果の一部を抜粋したものです。)



# まじプロ2015 スタッフ一覧

## 大学生インターン

|        |         |      |                      |
|--------|---------|------|----------------------|
| 岡野 祐太  | 東洋大学    | 4年   | 学生代表/スタボ伴走者          |
| 菊間 優次  | 日本大学    | 3年   | Special Melody 伴走者   |
| 小川 純平  | 日本大学    | 3年   | SON-2 伴走者            |
| 鈴木 絵里加 | 法政大学    | 3年   | SON-2 伴走者            |
| 小茅生 真紀 | 学習院大学   | 3年   | 総務担当                 |
| 鈴木 里彩子 | 東洋大学    | 3年   |                      |
| 武居 真穂  | 日本女子大学  | 3年   | スタボ伴走者               |
| 内海 和幸  | 東京大学大学院 | 修士1年 | 駒込 Laboratory 伴走者    |
| 岩井 昇華  | 東京理科大学  | 1年   | Special Melody 伴走者   |
| 二重作 有希 | 文教大学    | 4年   | 駒込 Laboratory/スタボ伴走者 |
| 松原 智広  | 中央大学    | 4年   | 駒込 Laboratory 伴走者    |
| 信岡 由恵  | 清泉女子大学  | 1年   | Special Melody 伴走者   |



## 大学生ボランティア

|         |           |      |
|---------|-----------|------|
| 鈴木 香琳   | 帝京大学      | 6年   |
| 黒木 彩加   | 東京理科大学大学院 | 修士2年 |
| 本橋 カリーム | 法政大学      | 3年   |
| 木下 悟志   | 法政大学      | 3年   |
| 渡邊 亮    | 法政大学      | 2年   |



## 社会人スタッフ

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 小川 智康  | NPO 法人 Curiosity 代表 |
| 三宅 邦明  | 厚生労働省               |
| 黒須 治   | 株式会社ペンと鞆 代表         |
| 諸岡 裕美子 | 文京区在住               |
| 八木 研   | 会社員/福澤文明塾 4期修了生     |



# NPO 法人 Curiosity について

Curiosity (キュリオシティ) は2013年に設立したNPO法人です。高校生向けチャリティ起業体験プログラム「まじプロ」を中心に、学生・若者世代にリアルな社会経験の機会を提供しています。

## まじプロ2015～高校生チャリティ×起業体験プログラム～ 活動報告書

2016年3月31日 発行

編集・発行：NPO 法人 Curiosity

〒113-0022 東京都文京区千駄木 4-18-20 1F

E-mail [info@curiosity.or.jp](mailto:info@curiosity.or.jp)

URL <http://www.curiosity.or.jp/>

Blog <http://curiosity-pr.blogspot.jp/>

# ネットあるある制作プロジェクト

## 「若者」+「インターネット」=? ネガティブなイメージを払拭したい!

「若者」、「インターネット」というとネガティブなイメージが思い浮かびがち。それを変えるために何ができるかを高校生や大学生の皆さんと考えました。



実生活に活かせる  
内容を現場に！  
↓  
みなさん、リアルな現場を  
活かしたコンテンツを

## 同年代が見て、考えてくれる 実生活に即したコンテンツ作り

同年代の人がインターネットの使い方について振り返るようなコンテンツを作ろう。そんな気持ちから「ネットあるある」作りが始まりました。



## みんなの「ネットあるある」完成!

グループにわかれてネットあるある制作開始。「これわかる!」と思わず広めたくなるものを作ることを意識しました。いくつもできた「ネットあるある」の中から2つを選んで4コマまんがにしました。



まじプロは文京区後援の高校生向けチャリティ起業体験プログラムです。教育ネットはまじプロに協賛しています。



子どもたちの可能性と  
夢を広げる社会の実現のために



教育ネットは、情報モラルを中心とした学校教育支援事業をおこなっております。

未来に生きる子どもたちの可能性を信じ、知恵を出しあうことから生まれる  
支援やサービスを提供することで新しい価値を創造し続けます。



情報モラルに関する  
メールニュース配信

登録無料

お助けネットニュース

まじプロ

子どもネット110番

子どものゲームやネットのトラブルに関するご相談を  
メール、面談で受け付けております。

関東を中心に全国で教職員研修、保護者講習、児童生徒への授業支援、各種相談などを実施しています。

株式会社教育ネット <http://edu-net.co.jp> TEL 045-550-3243 FAX 045-550-3278 Mail: [info@edu-net.co.jp](mailto:info@edu-net.co.jp)



# ネットあるある4コマまんが

高校生&大学生  
教育ネットコラボ

Edu  
Net

## 似たもの兄妹



妹



ネットは誰が見ているかわからない

## 全然ちがうじゃん



ネットの画像は加工されていることもある



— 新世代育成奉仕活動を支援 —

# Rotary

## 東京本郷ロータリークラブ



各職業を代表する地域のメンバーを求めています。

- 東京本郷ロータリークラブは、本郷を中心とした地域の各職業を代表する地元のメンバーが、それぞれの職業を通じて奉仕貢献しているのみならず、種々の奨学会制度により、全世界のロータリーメンバーと共に海外からの奨学生の受け入れや日本から各国への奨学生の送り出しをしています。
- 新世代育成のための会議開催や青少年支援プログラム、職場体験発表会などさまざまな活動を積極的に行っています。
- 東京本郷ロータリークラブは、より良い地域社会を目指して奉仕活動をしています。

### 〈 主な活動 〉



新世代会議

青少年育成のために会議を開催。  
毎回 100 名以上参加。



東北復興支援  
東京ドーム少年野球大会

子供たちに夢と希望を。



職場体験発表会

中学生に職場体験の  
取り組みを推進。



チャリティバザー

地域住民との交流を深め、  
収益を全額寄付。

- ・ 学校を救おうプロジェクト
- ・ 東日本大震災復興支援活動
- ・ 青少年交換プログラム
- ・ ロータリー財団奨学会制度
- ・ ロータリー米山記念奨学会制度

東京本郷ロータリークラブ TEL:03-3238-5350

〒102-0072 東京都千代田区新田橋1-9-6 朝日新聞ビルマンション905号室

〔役員構成〕 会長：河合 洋 副会長：本郷 浩 会長エレクト：小野澤秀介 副会長：柴山博一

理事：伊藤 守 大住 幸一 加藤利雄 小出 豊 藤原浩美 松下和正

幹事：櫻木健夫 副幹事：星野大記 神田浩則 会計：澤田利雄 会計監査：末廣伸三 SAA：原澤勝一

[www.t-hongo-rc.gr.jp](http://www.t-hongo-rc.gr.jp)

本郷 RC

検索